



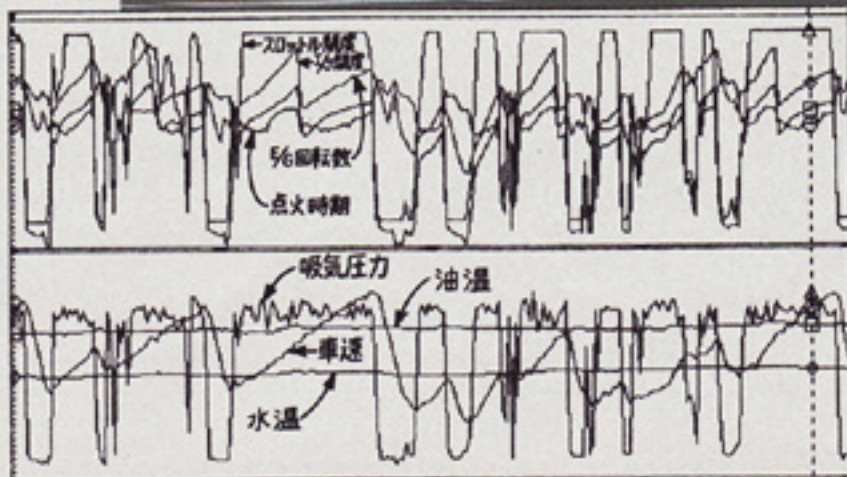
**BP RACING OIL**

DECE 11  
 Visco Gamma ■SAE/5W-50 ■AP/50-CD  
 Visco Alpha ■SAE/15W-50 ■AP/50-CD  
 Visco Beta ■SAE/10W-40 ■AP/50-CD

GATE  
 X717 ■SAE/75W-90 ■AP/CL-5  
 X518 ■SAE/90 ■AP/CL-6  
 BRAKE FLUID ■DOT5  
 Brake ■DOT5  
 Brake Super ■DOT4

**BP**  
**NEOLIX** リーダーズ  
 〒102 東京都千代田区千代田 1-1-1 365-1111  
 代表 03-5561-5211 03-5561-1111  
 03-5561-5211 03-5561-1111

サーキットでのテスト後、コーナーの隅が小さいとこまはコーナーターがきつて曲がらぬ。



TDL700で取ったデータ。このグラフはテストの最初から最後まで取った中から、ある1両分だけを抜き出して拡大したもの。どこのコーナーで何rpm回って、その時のインジェクター開度が何%で、スピードが何km/h、油温や水温がそれぞれ何度、というのが克明に記録されている。

⑤最高油温 (エンジンオイル)  
144・2度  
これは上がりすぎ。もはやエンジンオイルとしての機能を失う温度にまで達している。要オイルクーラーだ。

⑥最高油温 (ATフルード)  
計ってないけど沸騰した  
もちろん沸騰していいわけがない。標準の水冷却オイルクーラーなんて何の役にもたっていないってことだから。大型のオイルクーラーをつける。

まずはどこから手をつけるか

HKS関西 向井さん



今月からOPT2とジョイントでFTOプロジェクトを進めていく向井です。どうぞよろしく。  
 今回のテストでは、けっこう色いろなところに問題があることがわかったけど、出たばかりのクルマのテストなんてこんなもんだよ。でも、どこから手をつけていかなあ...ま、問題をひとつずつ克服していくのがボクらの仕事やからね。  
 とりあえず来月にはOPT2号が納車されるはずやから、まず定番のライトチューンから始めていこうと思う。マフラーを変えて、ブレーキパッドを変えて、サスペンション(たぶん試作の第1弾が間に合うと思うけど)のテストってところだろう。  
 そのほか、エンジンコンピューターとATコンピューターの解析&チューニング。ATのECU解析ができればサイトさんがしきりに気にしていたシフトダウンのときのタイムラグもなんとか克服できるかもしれない。  
 少しずつだけど、確実に問題を片付けて目標のサーキットスターを作るからね、みんな期待しててや!

FTOにハイパフォーマンスパーツリリース開始!

ショックアブソーバー(前後共4段調整)は前後各2万8000円、スプリングは前後各1万円だ。



これでマイナー車と呼ばれる心配はないぜ!

こういうことはあまり言いたくないけど、FTOってマイナー車の仲間入りしてしまう可能性がまったくない、というクルマではない。なんとなくそんな気がしている読者も少なくないはずだ。  
 でも、大丈夫。マイナー車と呼ばれるための第一の要素である、チューニングパーツが存在しない、というのだけはこれだなくなくなったからだ。果たしてそうだろうか、という疑問は残るが...だってパーツがたくさんあるのにも関わらずマイナー車と呼ばれるクルマはたくさんある...いや、考えないことにしよう。  
 ラリーアートから発売されたFTOのハイパフォーマンスパーツは、サスペンション関係とブレーキ、クラッチなど27アイテム(GPX ATに使用可能なのは19アイテム)だ。

販売に関する問い合わせ先  
 株式会社テストアンドサービス ☎044-854-1945

OPT2